

降雨量や土砂災害件数の推移状況

■ 降雨量の推移

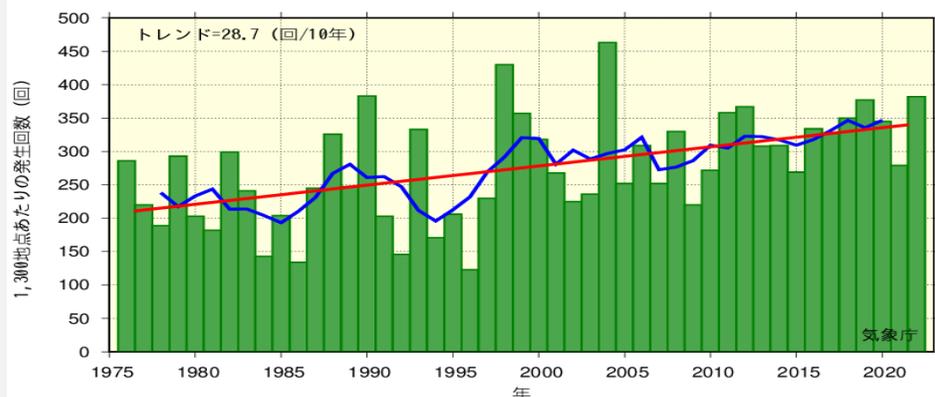
- 「1976～1985年」と「2013～2022年」の10年平均を比較
- ・ 1時間降水量50mm以上の年間発生回数は **約1.5倍に増加**
 - ・ 日降水量200mm以上の年間日数は **約1.5倍に増加**
1h降水量80mm以上、3h降水量150mm以上、日降水量300mm以上など強度の強い雨は、**1980年頃と比較して、概ね2倍程度に頻度が増加**

■ R6年度以降の見通し

地球温暖化による気候変動に起因する想定を超える豪雨や台風等による山地災害は、**今後一層の激甚化が見込まれるため、府民の安全・安心を守る対策が必要**

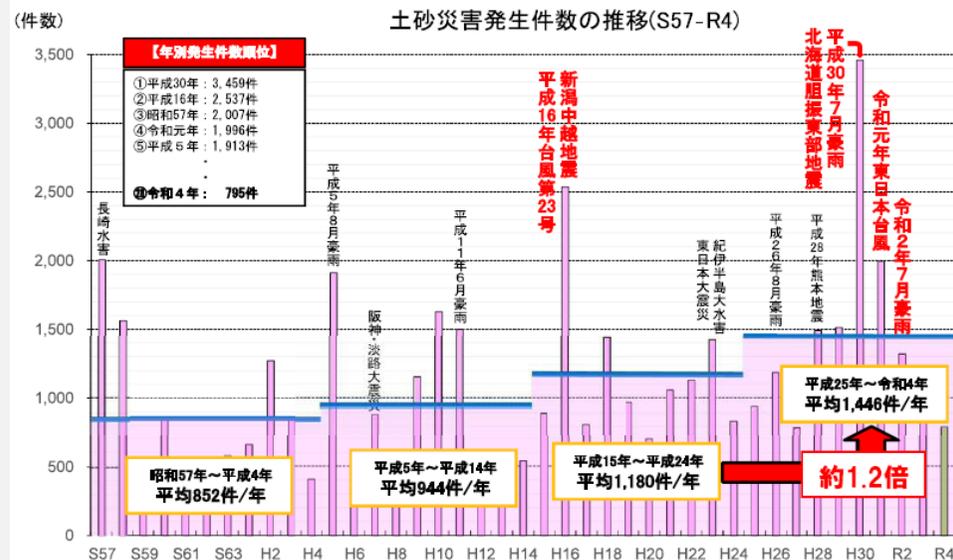
- ☞ 毎年のように多くの地点で降水量の観測史上1位の値が更新
- ☞ 気候変動に伴う今後の降水量等について、**降雨量、流量、洪水発生頻度の急増が近い将来見込まれると予測されている**
- ☞ 多くの研究から、日本付近における台風の強度は強まると予測されている

【全国アメダス】1時間降水量50mm以上の年間発生回数



■ 土砂災害発生件数の推移

- ・ 1983～1992年の10年平均 852件
- ・ 2013～2022年の10年平均1,446件 **約1.7倍に増加**



H30年7月豪雨災害
法面土砂崩壊（東大阪市）